

## 平成21年12月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ノバレーゼ  
 コード番号 2128 URL <http://www.novarese.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日  
 配当支払開始予定日

(氏名) 浅田剛治  
 (氏名) 田中雅樹

TEL 03-5524-1122

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年12月期第2四半期の業績(平成21年1月1日～平成21年6月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年12月期第2四半期	4,994	22.2	798	50.1	813	47.8	438	44.6
20年12月期第2四半期	4,087	18.8	531	5.2	550	3.6	303	2.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年12月期第2四半期	8,745.27	8,620.75
20年12月期第2四半期	5,830.64	5,732.32

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年12月期第2四半期	6,880	3,621	52.6	72,286.78
20年12月期	6,398	3,258	50.9	64,398.08

(参考) 自己資本 21年12月期第2四半期 3,621百万円 20年12月期 3,258百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年12月期		0.00		802.00	802.00
21年12月期		0.00			
21年12月期(予想)				500.00	500.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成21年6月10日開催の取締役会により、平成21年7月1日付で普通株式1株を2株にする株式分割を行いました。平成21年12月期(予想)の1株当たり配当金については、当該株式分割調整後の内容を記載しております。詳しくは3ページ「(ご参考)株式分割後の配当の状況について」をご覧ください。

## 3. 平成21年12月期の業績予想(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,300	10.2	1,625	10.4	1,635	8.1	867	8.9	8,637.12

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

平成21年6月10日開催の取締役会により、平成21年7月1日付で普通株式1株を2株にする株式分割を行いました。1株当たり当期純利益については、当該株式分割調整後の内容を記載しております。

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更	有
以外の変更	無

(注) 詳細は、5 ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年12月期第2四半期	52,257株	20年12月期	52,143株
期末自己株式数	21年12月期第2四半期	2,153株	20年12月期	1,544株
期中平均株式数(四半期累計期間)	21年12月期第2四半期	50,190株	20年12月期第2四半期	52,076株

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項は5ページ[定性的情報・財務諸表等] 3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(ご参考) 株式分割後の配当の状況について

当社は、平成21年6月10日開催の取締役会の決議により、平成21年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。

当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の配当の状況につきましては以下のとおりとなります。

1. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金	
	期末	年間
20年12月期	円 銭 401.00	円 銭 401.00

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間（平成21年1月1日～平成21年6月30日）におけるわが国経済は、昨年来の世界的な景気の悪化により企業収益は大幅に減少し、これに伴い設備投資の大幅な減少や雇用情勢の悪化等、依然厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社は、出店コストが低下した現在の景気状況は新店出店の好機であると判断し、当第2四半期累計期間においても、ゲストハウス（婚礼式場）候補地の選別・開発をすすめ、今後の収益に寄与する開業準備に引き続き取り組む一方、挙式・披露宴に列席される方々への和装レンタルを提供するために『ノバレーゼフォーマルセンター』をオープンして、新たなサービスを開始いたしました。また、本社移転により業務効率化を推進すると共に、同ビル内にイタリア製高級ウェディングドレスを専門にレンタル・販売する当社ドレスショップの旗艦店となる『ノバレーゼ銀座』をオープンいたしました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は、前事業年度中に開業した新店が収益向上に寄与したこともあり、4,994百万円（前年同期比22.2%増）を計上することができました。

利益面につきましても、売上高が堅調に推移したことや、前事業年度から取り組んでいる一括購買などの改善効果により大幅な増益を確保し、営業利益は798百万円（前年同期比50.1%増）、経常利益は813百万円（前年同期比47.8%増）、四半期純利益は438百万円（前年同期比44.6%増）となりました。

なお、事業の種類別売上高については以下のとおりです。

#### 婚礼プロデュース事業

当第2四半期累計期間においては、前事業年度に開業した都市型ゲストハウス1拠点と業務提携3拠点の新店効果に加えて、既存店舗においても積極的な営業促進を図った結果、婚礼プロデュース事業の売上高は1,908百万円（前年同期比23.8%増）となりました。

#### 婚礼衣裳事業

当第2四半期累計期間においては、前事業年度に開業したドレスショップ『エクリュスポーゼ』2店舗が業績に寄与したこと、また、提案営業による単価アップや、提携先ホテル・式場からの紹介増加により、婚礼衣裳事業の売上高は1,070百万円（前年同期比21.8%増）となりました。

#### ホテル・レストラン事業

婚礼プロデュース事業と同様に、当第2四半期累計期間においては、前事業年度に開店した都市型ゲストハウス1拠点と業務提携した3拠点が業績に寄与したため、ホテル・レストラン事業の売上高は2,014百万円（前年同期比21.0%増）となりました。

なお、前年同期比較に関する情報は参考として記載しております。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債および純資産の状況

##### 資産

当第2四半期会計期間末における資産総額は6,880百万円となり前事業年度末に比べ481百万円増加いたしました。主な要因といたしましては、地価下落を背景とした出店コストの低下を受けて、ゲストハウス事業用地の取得等により有形固定資産が570百万円増加したことによるものであります。一方、設備投資に係る支出の一部を自己資金をもって充当したことにより現金及び預金が159百万円減少しております。

##### 負債

当第2四半期会計期間末における負債総額は3,258百万円となり前事業年度末に比べ118百万円増加いたしました。主な要因といたしましては、新人事制度の段階的導入に伴う賞与支給方式の変更による賞与引当金が77百万円、設備投資に係る長期借入金が305百万円それぞれ増加したことによるものであります。また、一方で未払金が201百万円、未払法人税等が103百万円それぞれ減少しております。

##### 純資産

当第2四半期会計期間末における純資産総額は3,621百万円となり前事業年度末に比べ363百万円増加いたしました。主な要因といたしましては、四半期純利益を438百万円計上したことと、前事業年度にかかる配当金の支払が40百万円、自己株式の取得により40百万円減少したことによるものであります。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、有形固定資産の取得による支出および法人税等の支払額があったことにより前事業年度末に比べ159百万円減少し1,325百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は647百万円となりました。主な要因は、当第2四半期累計期間において税引前四半期純利益を789百万円計上しましたが、前事業年度の利益に関する法人税等の確定支払額が474百万円あったことによるものであります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は981百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出が845百万円、差入保証金の差入れによる支出が147百万円あったことによるものであります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、得られた資金は174百万円となりました。主な要因は、設備資金の新規実行による収入が600百万円、長期借入金の約定分割返済による支出が350百万円、自己株式の取得による支出が40百万円および配当金の支払額が40百万円となったことによるものであります。

## 3. 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の業績は堅調に推移しており、今後についても業績拡大に寄与すべく新規出店を計画しておりますが、一方で雇用・所得環境などの更なる景気悪化が懸念されることから通期の業績予想につきましては平成21年2月10日公表の予想数値を変更しておりません。

## 4. その他

### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として個別法による原価法によっておりましたが、第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算出しております。なお、この変更に伴う損益に与える影響はありません。

5 . 四半期財務諸表  
 (1)四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,325,659	1,484,788
売掛金	111,068	148,445
商品	30,234	30,632
原材料及び貯蔵品	73,516	79,309
その他	182,779	153,201
流動資産合計	1,723,258	1,896,377
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,200,455	3,282,442
土地	571,866	-
建設仮勘定	102,054	7,900
その他(純額)	461,630	475,250
有形固定資産合計	4,336,007	3,765,593
無形固定資産	23,046	27,279
投資その他の資産		
差入保証金	500,215	400,480
その他	297,697	308,820
投資その他の資産合計	797,913	709,300
固定資産合計	5,156,966	4,502,173
資産合計	6,880,225	6,398,550
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	479,159	459,934
1年内返済予定の長期借入金	392,760	449,308
未払金	383,363	585,121
未払法人税等	396,732	499,867
前受金	549,152	417,731
賞与引当金	77,000	-
その他	159,674	209,977
流動負債合計	2,437,842	2,621,940
固定負債		
長期借入金	739,208	433,235
その他	81,318	84,897
固定負債合計	820,526	518,132
負債合計	3,258,368	3,140,072
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	583,519	580,789
資本剰余金	443,069	440,339
利益剰余金	2,705,177	2,306,829
自己株式	109,909	69,480
株主資本合計	3,621,856	3,258,478
純資産合計	3,621,856	3,258,478
負債純資産合計	6,880,225	6,398,550

(2)四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)
売上高	4,994,339
売上原価	2,150,541
売上総利益	2,843,798
販売費及び一般管理費	2,045,567
営業利益	798,230
営業外収益	
受取利息	3,029
受取手数料	13,203
その他	6,945
営業外収益合計	23,178
営業外費用	
支払利息	7,572
その他	244
営業外費用合計	7,816
経常利益	813,592
特別損失	
固定資産除却損	24,018
特別損失合計	24,018
税引前四半期純利益	789,574
法人税、住民税及び事業税	372,210
法人税等調整額	21,564
法人税等合計	350,646
四半期純利益	438,927

## (3)四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	789,574
減価償却費	216,897
賞与引当金の増減額(は減少)	77,000
受取利息及び受取配当金	3,029
支払利息	7,572
固定資産除却損	24,018
売上債権の増減額(は増加)	37,377
たな卸資産の増減額(は増加)	6,190
その他の流動資産の増減額(は増加)	20,252
仕入債務の増減額(は減少)	19,225
未払金の増減額(は減少)	163,122
未払費用の増減額(は減少)	24,451
未払消費税等の増減額(は減少)	69,621
前受金の増減額(は減少)	131,421
その他の流動負債の増減額(は減少)	6,695
その他の固定資産の増減額(は増加)	4,743
その他の固定負債の増減額(は減少)	3,578
小計	1,126,067
利息及び配当金の受取額	3,017
利息の支払額	9,053
訴訟和解金の受取額	2,400
法人税等の支払額	474,604
営業活動によるキャッシュ・フロー	647,827
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	845,971
差入保証金の差入による支出	147,951
差入保証金の回収による収入	12,565
投資活動によるキャッシュ・フロー	981,356
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入れによる収入	600,000
長期借入金の返済による支出	350,575
株式の発行による収入	5,460
自己株式の取得による支出	40,429
配当金の支払額	40,054
財務活動によるキャッシュ・フロー	174,401
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	159,128
現金及び現金同等物の期首残高	1,484,788
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,325,659

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年2月10日開催の取締役会決議に基づき、当第2四半期累計期間において自己株式609株を取得いたしました。この結果、自己株式が40百万円増加し、109百万円となっております。

(6) 重要な後発事象

株式分割

平成21年6月10日開催の取締役会において、下記のとおり株式の分割について決議いたしました。

株式分割の目的

株式の流動性の向上を図り、より投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大を図ることを目的としております。

分割の方法

平成21年6月30日（火曜日）最終の株主名簿に記載された株主の所有普通株式1株につき、2株の割合をもって分割いたします。

分割により増加する株式数

普通株式とし、平成21年6月30日（火曜日）最終の発行済株式総数に1を乗じた株式数といたします。

増加する普通株式 52,257株

株式分割の効力発生日

平成21年7月1日（水曜日）

当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の前事業年度における1株当たり情報および当期首に行われたと仮定した場合の当第2四半期累計期間における1株当たり情報は、それぞれ以下のとおりとなります。

1株当たり純資産額

当第2四半期会計期間末	前事業年度末
36,143.39円	32,199.04円

1株当たり四半期純利益金額等

当第2四半期累計期間	
1株当たり四半期純利益金額 4,372.63円	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 4,310.38円

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1)中間損益計算書

区分	前中間会計期間 (自 平成20年 1月 1日 至 平成20年 6月30日)	
	金額(千円)	百分比 (%)
売上高	4,087,077	100.0
売上原価	1,878,231	46.0
売上総利益	2,208,845	54.0
販売費及び一般管理費	1,676,916	41.0
営業利益	531,929	13.0
営業外収益	25,042	0.6
営業外費用	6,536	0.1
経常利益	550,435	13.5
特別損失	1,518	0.1
税引前中間純利益	548,917	13.4
法人税、住民税及び事業税	230,923	
法人税等調整額	14,360	245,283
中間純利益	303,633	7.4

## (2)中間キャッシュ・フロー計算書

	前中間会計期間 (自 平成20年 1月 1日 至 平成20年 6月30日)
区分	金額(千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前中間純利益	548,917
減価償却費	233,955
受取利息及び受取配当金	1,410
支払利息	6,418
為替差損	0
保険解約返戻金	9,719
固定資産除却損	1,518
売上債権の増加額	21,630
たな卸資産の増加額	3,539
その他流動資産の減少額	5,945
仕入債務の増加額	5,287
未払金の減少額	25,151
未払費用の減少額	21,828
未払消費税等の増加額	4,804
前受金の増加額	141,061
その他流動負債の減少額	21,909
その他固定資産の減少額	1,145
その他固定負債の減少額	7,534
小計	836,333
利息及び配当金の受取額	1,410
利息の支払額	6,982
訴訟和解金の受取額	2,400
法人税等の支払額	348,176
保険解約返戻金の受取額	29,566
営業活動によるキャッシュ・フロー	514,551

	前中間会計期間 (自 平成20年 1月 1日 至 平成20年 6月30日)
区分	金額(千円)
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	136,803
差入保証金の差入れによる支出	18,501
差入保証金の回収による収入	803
その他	190
投資活動によるキャッシュ・フロー	154,311
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増加額	280,000
長期借入金の返済による支出	308,144
株式の発行による収入	2,310
配当金の支払額	36,924
財務活動によるキャッシュ・フロー	62,758
現金及び現金同等物に係る換算差額	0
現金及び現金同等物の増加額	297,480
現金及び現金同等物の期首残高	542,279
現金及び現金同等物の中間期末残高	839,759

## 6. その他の情報

該当事項はありません。